

科目 ナンバー	01SA202	対象学科・ コース	経済学部	専門・総合・教職	専門科目
				配当学年	2年以上
主 学 科	経済学部	要 件	選択科目	授業区分	
授 業 科 目 名	経済統計(2021以前入学者)		担当形態	単独	
	Economic Statistics		担当教員	河田 正樹	
開 講 期	通年	単位数	4単位	オフィスアワー(常勤教員のみ)	
添付ファイル					

② 授業方法

■ 講義 ■ 演習 □ 実技 □ その他

③ 授業形態

■ 対面 □ ハイフレックス □ オンライン □ オンデマンド

④ 授業のテーマ及び到達目標

新聞紙上では、完全失業率、消費者物価指数、景気動向指数、国内総生産(GDP)などといった経済データが連日のように記事となっています。この講義では、経済データの成り立ちや経済データを用いた簡単な分析を学び、日本経済や世界経済についての理解を深めるとともに、経済諸現象のデータを用いた分析をおこなうための基礎をやしません。

【到達目標】

- ① 新聞・ニュースなどで目にする経済データの意味を理解することができる。
- ② 物価指数や国民経済計算などのマクロ経済統計の作成方法を理解することができる。
- ③ Excelを用いて、実際の経済データを分析し、日本経済の現状を理解することができる。

⑤ 授業の概要

この授業は、前期は2022年度入学生と一緒に講義中心でおこない、後期は少人数で演習中心の授業をおこないます。

<前期>

授業前に予習動画を見て、クイズに回答します。

授業では、クイズの解説をおこなった後、PowerPointのスライドを用いた講義をおこない、講義の最後に練習問題をおこないます。

実際のデータとその分析例の紹介を積極的におこないます。講義時間中に実際のデータの閲覧や、データ分析をおこなうために、ノートパソコンが必要な時があります。

関連する新聞記事のコピーを適宜配布し、解説します。

出欠はクイズの回答状況と、当日の着席状況を撮影したものを照合することによって確認します。

<後期>

前期に学んだ内容を振り返りながら、実際の経済データを用いた分析をおこないます。分析結果をまとめ、グループ発表や個人発表などもおこないます。

⑥ 対応するディプロマ・ポリシー (専門科目のみ)

- 知識及び技能の習得
- 思考力・判断力・表現力等の養成
- 主体性・多様性・協調性の養成
- 地域貢献に関する意識の醸成

https://www.shunan-u.ac.jp/faculty/diploma_curriculum_policy/

⑦ 教科書

書籍無し

⑧ 参考図書

1冊目

書籍名	経済の統計的分析	発行年	2004 年
著作者名	佐竹元一郎	出版社	中央経済社
金額(税込)	3,300 円	I S B N	978-4502651601
学内販売	なし		

⑨ 履修上の注意	【先修条件科目 必須】	
	【先修条件科目 推奨】	統計学基礎、データサイエンス入門
	【持参物】	
	【その他】	

⑩ 評価基準

① 経済データの意味の理解 ② マクロ経済統計の作成方法の理解 ③ 日本経済の現状理解 について、「学生に対する評価」の内容で評価します。「その他」は授業内外の演習の状況を、課題提出を通して評価します。

⑪ 学生に対する評価						
試験	小テスト	レポート	発表・実技	ポートフォリオ	その他	合計
30%		30%	30%		10%	100%
⑫ 担当教員からのメッセージ（予習・復習内容・時間にも言及）						
<p>データの面から日本経済をながめてみましょう。</p> <p>【予習・復習について】</p> <p><前期> 予習…クイズのための動画を視聴してくる。 復習…当日の内容や練習問題を確認し、内容の定着をはかること。復習問題への解答や、実習課題の作成をおこない、提出を求めることもあります。</p> <p><後期> 予習…指示内容に基づき、データを分析し、発表のための準備をしてくる。 復習…発表の際に指摘されたことを修正し、理解を深めること。 ※ 予習・復習合わせて60分程度行うようにしてください。</p>						
⑬ 授業計画と学習課題						
回数	授業の内容			授業方法	担当教員	
1	ガイダンス teamsの使い方 この講義で取り扱う範囲 第1章 日本の統計制度			講義 演習	河田 正樹	
2	第2章 全数調査と標本調査 全数調査と標本調査の特徴 世帯に関する全数調査 事業所・企業に関する全数調査			講義 演習	河田 正樹	
3	第3章 人口に関する統計(1) 国勢調査年以外の人口推計 人口ピラミッド、性比			講義 演習	河田 正樹	
4	第3章 人口に関する統計(2) 人口構成、出生と死亡 生命表			講義 演習	河田 正樹	
5	第4章 労働に関する統計 経済活動人口に関する統計 賃金・労働時間に関する統計			講義 演習	河田 正樹	
6	第5章 家計に関する統計(1) 家計に関する統計調査 家計収支の分析 消費構造の分析(消費関数、エンゲル係数)			講義 演習	河田 正樹	
7	第5章 家計に関する統計(2) 消費構造の分析(エンゲル関数、弾力性) 所得や資産の格差			講義 演習	河田 正樹	
8	第6章 物価指数(1) 物価指数の考え方 指数に関するいくつかの検討			講義 演習	河田 正樹	
9	第6章 物価指数(2) 物価指数の実際			講義 演習	河田 正樹	
10	第7章 時系列データの季節調整(1) 時系列データとは 前年同期比 古典的時系列分析			講義 演習	河田 正樹	
11	第7章 時系列データの季節調整(2) 季節調整法の実際 第8章 景気指標(1) 景気の定義と景気循環 景気を測定する方法			講義 演習	河田 正樹	
12	第8章 景気指標(2) 景気指標による景気の測定 サーベイデータによる景気の測定 計量経済モデルによる景気の測定			講義 演習	河田 正樹	
13	第9章 地域経済分析入門 RESASなどのWebGISの使い方 WebGISを使った地域経済分析入門			講義 演習	河田 正樹	
14	第10章 国民経済計算(1) 国民経済計算とは 産業連関表			講義 演習	河田 正樹	
15	第10章 国民経済計算(2) 産業連関分析入門 国民所得勘定			講義 演習	河田 正樹	
16	後期の授業の進め方について データの所在確認、Powerpointの使い方			講義 演習	河田 正樹	
17	人口に関するデータ分析(1) 人口に関する統計の振り返り データ分析			講義 演習	河田 正樹	
18	人口に関するデータ分析(2) 人口データ分析に関する考察・発表			講義 演習	河田 正樹	

19	人口に関するデータ分析(3) まとめレポートの作成	講義 演習	河田 正樹
20	労働に関するデータ分析(1) 労働に関する統計の振り返り データ分析	講義 演習	河田 正樹
21	労働に関するデータ分析(2) 労働データ分析に関する考察・発表	講義 演習	河田 正樹
22	労働に関するデータ分析(3) まとめレポートの作成	講義 演習	河田 正樹
23	家計に関するデータ分析(1) 家計に関する統計の振り返り データ分析家計に関するデータ分析(1)	講義 演習	河田 正樹
24	家計に関するデータ分析(2) 家計データ分析に関する考察・発表	講義 演習	河田 正樹
25	家計に関するデータ分析(3) まとめレポートの作成	講義 演習	河田 正樹
26	地域統計データ分析(1) 地域統計の振り返り データ分析	講義 演習	河田 正樹
27	地域統計データ分析(2) 地域統計データ分析に関する考察・発表	講義 演習	河田 正樹
28	地域統計データ分析(3) まとめレポートの作成	講義 演習	河田 正樹
29	レポート発表	講義 演習	河田 正樹
30	総復習	講義 演習	河田 正樹

⑭ 科目等履修制度

- 科目等履修生(学生以外の一般履修者 若干名)を受け入れてもよい。
 科目等履修生を受け入れることはできない。

⑮ 実務家教員担当科目に関する記載

--

科目 ナンバー	01SA202	対象学科・ コース	経済学部	専門・総合・教職	専門科目
				配当学年	2年以上
主 学 科	経済学部	要 件	選択科目	授業区分	
授 業 科 目 名	経済統計(2022以降入学者)		担当形態	単独	
	Economic Statistics		担当教員	河田 正樹	
開 講 期	前期	単位数	2単位	オフィスアワー(常勤教員のみ)	

添付ファイル

② 授業方法

■ 講義 ■ 演習 □ 実技 □ その他

③ 授業形態

■ 対面 □ ハイフレックス □ オンライン □ オンデマンド

④ 授業のテーマ及び到達目標

新聞紙上では、完全失業率、消費者物価指数、景気動向指数、国内総生産(GDP)などといった経済データが連日のように記事となっています。この講義では、経済データの成り立ちや経済データを用いた簡単な分析を学び、日本経済や世界経済についての理解を深めるとともに、経済諸現象のデータを用いた分析をおこなうための基礎をやしません。

【到達目標】

- ① 新聞・ニュースなどで目にする経済データの意味を理解することができる。
- ② 物価指数や国民経済計算などのマクロ経済統計の作成方法を理解することができる。
- ③ Excelを用いて、実際の経済データを分析し、日本経済の現状を理解することができる。

⑤ 授業の概要

授業前に予習動画を見て、クイズに回答します。
授業では、クイズの解説をおこなった後、PowerPointのスライドを用いた講義をおこない、講義の最後に練習問題をおこないます。
実際のデータとその分析例の紹介を積極的におこないます。講義時間中に実際のデータの閲覧や、データ分析をおこなうために、ノートパソコンが必要な場合があります。
関連する新聞記事のコピーを適宜配布し、解説します。
出欠はクイズの回答状況と、当日の着席状況を撮影したものを照合することによって確認します。

⑥ 対応するディプロマ・ポリシー（専門科目のみ）

- 知識及び技能の習得
- 思考力・判断力・表現力等の養成
- 主体性・多様性・協調性の養成
- 地域貢献に関する意識の醸成

https://www.shunan-u.ac.jp/faculty/diploma_curriculum_policy/

⑦ 教科書

書籍無し

⑧ 参考図書

1冊目

書籍名	経済の統計的分析	発行年	2004 年
著作者名	佐竹元一郎	出版社	中央経済社
金額(税込)	3,300 円	I S B N	978-4502651601
学内販売	なし		

⑨ 履修上の注意

【先修条件科目 必須】

【先修条件科目 推奨】

【持参物】

【その他】

統計学基礎、データサイエンス入門

⑩ 評価基準

① 経済データの意味の理解 ② マクロ経済統計の作成方法の理解 ③ 日本経済の現状理解 について、「学生に対する評価」の内容で評価します。
「その他」は授業内外の演習の状況を、課題提出を通して評価します。

⑪ 学生に対する評価						
試験	小テスト	レポート	発表・実技	ポートフォリオ	その他	合計
60%		20%			20%	100%
⑫ 担当教員からのメッセージ（予習・復習内容・時間にも言及）						
データの面から日本経済をながめてみましょう。						
【予習・復習について】						
予習…クイズのための動画を視聴してくる。						
復習…当日の内容や練習問題を確認し、内容の定着をはかること。復習問題への解答や、実習課題の作成をおこない、提出を求めることもあります。						
※ 予習・復習合わせて60分程度行うようにしてください。						
⑬ 授業計画と学習課題						
回数	授業の内容			授業方法	担当教員	
1	ガイダンス teamsの使い方 この講義で取り扱う範囲 第1章 日本の統計制度			講義 演習	河田 正樹	
2	第2章 全数調査と標本調査 全数調査と標本調査の特徴 世帯に関する全数調査 事業所・企業に関する全数調査			講義 演習	河田 正樹	
3	第3章 人口に関する統計(1) 国勢調査年以外の人口推計 人口ピラミッド、性比			講義 演習	河田 正樹	
4	第3章 人口に関する統計(2) 人口構成、出生と死亡 生命表			講義 演習	河田 正樹	
5	第4章 労働に関する統計 経済活動人口に関する統計 賃金・労働時間に関する統計			講義 演習	河田 正樹	
6	第5章 家計に関する統計(1) 家計に関する統計調査 家計収支の分析 消費構造の分析(消費関数、エンゲル係数)			講義 演習	河田 正樹	
7	第5章 家計に関する統計(2) 消費構造の分析(エンゲル関数、弾力性) 所得や資産の格差			講義 演習	河田 正樹	
8	第6章 物価指数(1) 物価指数の考え方 指数に関するいくつかの検討			講義 演習	河田 正樹	
9	第6章 物価指数(2) 物価指数の実際			講義 演習	河田 正樹	
10	第7章 時系列データの季節調整(1) 時系列データとは 前年同期比 古典的時系列分析			講義 演習	河田 正樹	
11	第7章 時系列データの季節調整(2) 季節調整法の実際 第8章 景気指標(1) 景気の定義と景気循環 景気を測定する方法			講義 演習	河田 正樹	
12	第8章 景気指標(2) 景気指標による景気の測定 サーベイデータによる景気の測定 計量経済モデルによる景気の測定			講義 演習	河田 正樹	
13	第9章 地域経済分析入門 RESASなどのWebGISの使い方 WebGISを使った地域経済分析入門			講義 演習	河田 正樹	
14	第10章 国民経済計算(1) 国民経済計算とは 産業連関表			講義 演習	河田 正樹	
15	第10章 国民経済計算(2) 産業連関分析入門 国民所得勘定			講義 演習	河田 正樹	
⑭ 科目等履修制度						
■ 科目等履修生(学生以外の一般履修者 若干名)を受け入れてもよい。						
□ 科目等履修生を受け入れることはできない。						
⑮ 実務家教員担当科目に関する記載						